

# 遊具、絵本いっぱい

JR総社駅前に子育て支援拠点「そうじゃ子育ての駅ほのぼの」(総社市駅前)が整備され、23日から一般利用が始まる。市内で福祉施設や保育園を運営する社会福祉法人雪舟福祉会と県立大が連携して開設。就学前の子どもが楽しめる遊具や学生お薦めの絵本などがそろそろ。新型コロナウイルス禍における子育て世代の孤立を防ぎ、交流を促していく。(寺尾彰啓)

駅南の空きビルの2階(約330平方メートル)を改装。体を動かせる大型遊具をはじめ、ままごと、絵本を集めたコーナーなど子どもの成長や興味に合わせてスペースを設けた。飲食ができるコーナーや授乳室、子ども用トイレもある。

内装や家具類は同大建築学科が設計、製作を担当。木製の本棚やベンチは角を丸く削り、自然塗料を用い安全面に配慮した。絵本コーナーは、本を選ぶボランティアの経験がある子どもと学級の3年生4人が中心に「読んでほしい本」をセレクト。絵本作家かこさとしさん



遊具で遊ぶ子ども

## 総社駅前 子育て支援拠点 23日オープン



県立大が選んだ絵本を並べるコーナー。読み聞かせもできる

### 雪舟福祉会と県立大連携

の作品やノンタンシリーズなど、世代を超えた名作を置いた。子育て拠点を構想していた雪舟福祉会と学生の学びの場としたい大がタッグを組んだ。施設では月1回程度、楽器体験や子育てに関するワークショップも開く予定。

が遊具などを楽しんでいる。今月市内に転入予定というパート村井璃佳さん(31)は「駅から近く便利。子どもも私もここで友達ができたら」と話していた。

利用対象は未就学児(小学3年生までのきょうだいは同伴可)と保護者。開設は土曜日と第2、4日曜日の午前10時〜11時半と午後1時半〜3時

で、保育士が常駐する。無料だが専用サイト

http://sesshu-fukusuhikair.jp/honobono

に予約が必要。招待された幼児

### 交流促し孤立防ぐ

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。